



事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
児童福祉総務事業	健康福祉部	子育て支援課	児童家庭班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
第四次実施計画	子育てOSS利用者	件	30	1	50	4	100

評価	平成30年度	事業効果	効果があった
		判断理由	目標値を下回るが、今後利用件数が増えていく可能性はあるため。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	子育て世帯の申請手続きにおいて、手続き方法の選択肢を確保するため、継続事業とする。ホームページや広報等で市民に周知する。
	令和元年度	事業効果	効果があった
		判断理由	目標値を下回るが、今後利用件数が増えていく可能性はあるため。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	子育て世帯の申請手続きにおいて、手続き方法の選択肢を確保するため、継続事業とする。ホームページや広報等で市民に周知する。
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

## 第四次実施計画事業シート

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	
↳				【継続】の場合の区分	
				拡大	
部等名		課等名		班等名	
健康福祉部		子育て支援課		幼保連携班	

事業(予算)名	保育総務事業							
総合計画体系	施策の大綱		第1章 手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち					
	施策		施策2 次代を担う子どもの成長と仕事と子育ての両立を支援する児童福祉の充実					
	施策の展開		(3) 保育サービスの充実					
予算科目	会計	一般	款	3	項	2	目	1
関連計画・根拠法令等	児童福祉法、子ども・子育て支援法							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	—				—			

事業の概要	現状 (課題・ニーズ)	保育に係る需用費、委託料及び賃借料等の全体的事務を処理する。						
	対象 (誰・何を)	保育児童						
	事業内容 (課題・ニーズの解決策)	保育に係る需用費、委託料及び賃借料等の全体的事務を処理する。						
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )						
	事業手法選択の理由	直営で対応できない業務について委託している。						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

	指標	単位	目標値			指標として設定する理由	
			H30年度	R元年度	R2年度		
指標	保育料口座振替	人	558	558	558	口座振替件数により経費に影響が出るため	
	後期基本計画における指標	単位	実績値 H26年度	目標値 R2年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
	総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 R元年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		( )					
		( )					
		( )					

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
保育総務事業	健康福祉部	子育て支援課	幼保連携班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
第四次実施計画	保育料口座振替	人	558	490	558	475(9月) 301(3月)	558

評価	平成30年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	児童福祉法、子ども・子育て支援法に基づき、保育を必要とする乳幼児を保育園等で保育することにより、児童福祉の充実が図られている。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	児童福祉法、子ども・子育て支援法に基づき、児童の保育を実施していくため事務を継続していく。
	令和元年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	児童福祉法、子ども・子育て支援法に基づき、保育を必要とする乳幼児を保育園等で保育することにより、児童福祉の充実が図られている。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	児童福祉法、子ども・子育て支援法に基づき、児童の保育を実施していくため事務を継続していく。令和元年10月から幼児教育保育無償化の実施に伴い、3～5歳児クラス児童の利用者負担額(保育料)が無償(0円)となったため、口座振替件数が減少している。
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

### 第四次実施計画事業シート

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	
-------	----	------	---	-------	--

【継続】の場合の区分	拡大
------------	----

部等名	課等名	班等名
健康福祉部	子育て支援課	幼保連携班

事業(予算)名	私立保育園運営助成事業							
総合計画体系	施策の大綱		第1章 手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち					
	施策		施策2 次代を担う子どもの成長と仕事と子育ての両立を支援する児童福祉の充実					
	施策の展開		(3) 保育サービスの充実					
予算科目	会計	一般	款	3	項	2	目	2
関連計画・根拠法令等	児童福祉法、富里市民間保育所運営費等補助金交付要綱							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	-				-			

事業の概要	現状 (課題・ニーズ)	障害児対応保育士の加配について、補助対象分以外は各園の自己負担となることから、その人件費が経営に大きな負担をかけている。						
	対象 (誰・何を)	市内民間認可保育所						
	事業内容 (課題・ニーズの解決策)	市内民間認可保育所に対し、運営費(予備保育士、延長保育、一時保育等)に対する補助金を交付し、円滑な運営を図ることができるようにしていく。						
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )						
	事業手法選択の理由	直営で対応できない業務に助成している。						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	目標値			指標として設定する理由
		H30年度	R元年度	R2年度	
補助金の交付	施設	5	5	5	施設数により経費に影響が出るため
延長保育事業の実施	施設	4	4	4	施設数により経費に影響が出るため
一時保育事業の実施	施設	4	4	4	施設数により経費に影響が出るため
後期基本計画における指標	単位	実績値 H26年度	目標値 R2年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由	
保育所待機児童数	人	83	0	保育士処遇改善により、保育士確保が図られ、児童の受入れが可能になる。	
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 R元年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由
待機児童数	人	83 (H26)	0	指標	保育士処遇改善により、保育士確保が図られ、児童の受入れが可能になる。
		( )			
		( )			

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
私立保育園運営助成事業	健康福祉部	子育て支援課	幼保連携班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
補助金の交付	施設	5	5	5	5	5	
延長保育事業の実施	施設	4	3	4	3	4	
一時保育事業の実施	施設	4	4	4	3	4	

評価	平成30年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	私立保育園の運営を助成することにより、保育を充実させることで、児童福祉の充実が図られている。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	保育の質を高めることで、今後も継続していく。
	令和元年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	私立保育園の運営を助成することにより、保育を充実させることで、児童福祉の充実が図られている。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	保育の質を高めることで、今後も継続していく。
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

## 第四次実施計画事業シート

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	
-------	----	------	---	-------	--

→ 【継続】の場合の区分	拡大
--------------	----

部等名	課等名	班等名
健康福祉部	子育て支援課	子育て支援班

事業(予算)名	放課後児童健全育成運営事業
---------	---------------

総合計画体系	施策の大綱	第1章 手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち						
	施策	施策2 次代を担う子どもの成長と仕事と子育ての両立を支援する児童福祉の充実						
	施策の展開	(3) 保育サービスの充実						
予算科目	会計	一般	款	3	項	2	目	1
関連計画・根拠法令等	児童福祉法 子ども・子育て支援法							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	-				-			

事業の概要	現状 (課題・ニーズ)	就労形態の多様化に伴い、開所時間の延長や土曜日開所を希望する家庭が増えている。						
	対象 (誰・何を)	市内小学校に通う児童、放課後児童健全育成事業を実施している市内民間事業者						
	事業内容 (課題・ニーズの解決策)	学童クラブの運営委託並びに放課後児童健全育成事業を実施している市内民間事業者の運営に対する補助						
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )						
	事業手法選択の理由	各運営委員会や社会福祉法人に委託することで、それぞれの特色を出し、多様化するニーズに対応できるため。						
	協働の取組	有	協働の取組内容	学童クラブに通う保護者で組織する運営委員会に対し運営を委託し、児童の健全育成に努めている。				

指標	単位	目標値			指標として設定する理由
		H30年度	R元年度	R2年度	
放課後児童クラブ 入所率	%	71	74	77	入所率により本事業の効果を客観的に把握するため(定員に対する入所率)
後期基本計画 における指標	単位	実績値 H26年度	目標値 R2年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由	
保育所待機児童 数	人	83		指標の達成に直接寄与するものではないが、子育てしやすい環境の整備により街づくりの目標である「手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち」の達成に寄与するものである	
放課後児童クラブ 設置数	箇所	5	8	本事業において放課後児童健全育成事業を実施しているため	
総合戦略におけ る指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 R元年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由
		( )			
		( )			
		( )			

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
放課後児童健全育成運営事業	健康福祉部	子育て支援課	子育て支援班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
放課後児童クラブ入所率	%	71	74	74	74	77	

評価	平成30年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	学童クラブの入所率は、目標値を超えており、学童クラブを多くの家庭が利用しているため。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	子どもの数は年々減少傾向にあるが、就学前児童の保育需要が高まっており、保育園・こども園に入園している児童が多くなっていることに比例し、小学校入学に際し、学童クラブを利用する児童が増加していることを見ても市民ニーズが高い事業であることから、引き続き、放課後児童健全育成事業を実施していく。
	令和元年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	学童クラブの入所率は、目標値を達成しており、学童クラブを多くの家庭が利用しているため。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	子どもの数は年々減少傾向にあるが、小学校入学に際し、学童クラブを利用する児童が増加しており、市民ニーズが高い事業であることから、引き続き、放課後児童健全育成事業を実施していく。また、第2期子ども・子育て支援事業計画に位置付けた令和3年度中の富里小学校区への1施設の新設を進める。
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	



# 第四次実施計画事業シート

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	
↓				【継続】の場合の区分	継続
部等名		課等名		班等名	
健康福祉部		子育て支援課		児童家庭班	

事業(予算)名	ファミリーサポートセンター事業							
総合計画体系	施策の大綱		第1章 手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち					
	施策		施策2 次代を担う子どもの成長と仕事と子育ての両立を支援する児童福祉の充実					
	施策の展開		(1) 子どもが健やかに生まれ育つための環境づくりの推進					
予算科目	会計	一般	款	3	項	2	目	1
関連計画・根拠法令等	子ども・子育て支援法							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	H24				-			

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	地域における子育て支援サービスを充実させる。							
	対象(誰・何を)	子育ての手助けをして欲しい人と子育ての手助けが出来る人							
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	安心して子育てができるよう、子育ての手助けをして欲しい人と子育ての手助けが出来る人の会員組織を設立し、相互援助活動に関するコーディネート、アドバイス等を行なうもので、それぞれの自発性と責任性を尊重するために有償制をとっている。保育園や放課後クラブなど既存の保育施設等で実施している一時保育や延長保育を更に補完する事業としての利用が見込まれ、地域住民と連携をし、労働形態の多様化への対応、仕事と子育ての両立、女性の社会進出への有効な支援策としての効果が期待される。ファミリーサポートセンターは「会員の募集・登録」「会員同士の相互援助活動の調整」「保育所等との連絡システムの整備」「会員に対する講習会の開催」「交流会の開催」「関係機関との情報交換及び連絡調整」「広報周知活動」などを業務としている。							
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )							
	事業手法選択の理由	こども館において直営で事業を行うことで利用者の利便性の向上が期待できるため							
	協働の取組	有	協働の取組内容		本事業は市民の互助組織として成り立っている。				

指標	単位	目標値			指標として設定する理由
		H30年度	R元年度	R2年度	
利用会員	人	98	103	108	利用会員の人数を把握するため
提供・両方会員	人	59	64	69	提供・両方会員の人数を把握するため
活動件数	件	499	509	519	活動件数を把握するため
後期基本計画における指標	単位	実績値 H26年度	目標値 R2年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由	
保育所待機児童数	人	83		指標の達成に直接寄与するものではないが、子育てしやすい環境の整備により街づくりの目標である「手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち」の達成に寄与するものである	
放課後児童クラブ設置数	箇所	5	8	指標の達成に直接寄与するものではないが、子育てしやすい環境の整備により街づくりの目標である「手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち」の達成に寄与するものである	
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 R元年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由
全体会員数	人	169 (H26)	155	KPI	本事業においてファミリーサポートセンターの運営を行っているため
		( )			
		( )			

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
ファミリーサポートセンター事業	健康福祉部	子育て支援課	児童家庭班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
利用会員	人	98	96	103	99	108	
提供・両方会員	人	59	55	64	55	69	
活動件数	件	499	513	509	670	519	

評価	平成30年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	会員数は目標値を下回るものの、活動件数はH29年度から引き続き500件を超えており、地域における子育て支援策としての事業効果があったと判断されるため。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	既存の子育て支援サービスの補完としての利用が見込まれることから、継続事業とする。ホームページや広報等で市民に広く周知する。
	令和元年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	利用会員については目標を下回ったが、提供・両方会員、活動件数については目標を上回った。特に活動件数は670件と前年と比べ161件の増加で、利用ニーズが高まっていると考えられることから、地域における子育て支援策としての事業効果があったと判断されるため。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	既存の子育て支援サービスの補完としての利用が見込まれることから、継続事業とする。ホームページや広報等で市民に広く周知する。
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

# 第四次実施計画事業シート

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	
-------	----	------	---	-------	--

➔ 【継続】の場合の区分

継続
----

部等名	課等名	班等名
健康福祉部	子育て支援課	子育て支援班

事業(予算)名	子ども・子育て支援事業
---------	-------------

総合計画体系	施策の大綱	第1章 手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち						
	施策	施策2 次代を担う子どもの成長と仕事と子育ての両立を支援する児童福祉の充実						
	施策の展開	(1) 子どもが健やかに生まれ育つための環境づくりの推進						
予算科目	会計	一般	款	3	項	2	目	1
関連計画・根拠法令等	児童福祉法 子ども・子育て支援法							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	H25				-			

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	質の高い幼児期の教育・保育が受けられることや家族や地域での子育て力が低下していること、保育所に預けたいが入れず待機となっているなど、子育てをめぐる課題が山積している。						
	対象(誰・何を)	児童						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	本市域における子育てニーズを把握し、幼児期の教育及び保育など地域ニーズに応じた多様な子育て支援の充実を図る。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )						
	事業手法選択の理由	本事業は、市の子育て支援施策を決定し、推進する事業である為						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	目標値			指標として設定する理由
		H30年度	R元年度	R2年度	
子ども・子育て会議の開催	回	5	5	5	子ども・子育て支援事業計画の進捗等について意見をいただき、子育て支援の充実を図ることが必要である為
後期基本計画における指標	単位	実績値 H26年度	目標値 R2年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由	
保育所待機児童数	人	83		指標の達成に直接寄与するものではないが、子育てしやすい環境の整備により街づくりの目標である「手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち」の達成に寄与するものである	
総合戦略における指標等	単位	基準値(年度)	目標値 R元年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由
待機児童数	人	83 (H26)		指標	本事業は、本市の子育て支援施策を推進する事業である為
認定こども園数	箇所	( )	2箇所	KPI	本事業は、本市の子育て支援施策を推進する事業である為
子育て支援センター利用者数	人	8317 (H26)	25000	KPI	本事業は、本市の子育て支援施策を推進する事業である為

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
子ども・子育て支援事業	健康福祉部	子育て支援課	子育て支援班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
子ども・子育て会議の開催	回	5	2	5	4	5	

評価	平成30年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	本市の各子育て支援施策は、子ども・子育て支援事業計画を指針として実施しており、各施策の進捗状況から子育て支援施策が推進されているものと判断し、相当程度効果があったものとする。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	本事業は子ども・子育て支援法に定められた子ども・子育て支援事業計画の策定や進捗管理、子ども・子育て会議を運営する事業であり、引き続き実施していく必要がある。令和元年度は次期子ども・子育て支援事業計画の策定をする年度であり、子ども・子育て会議に意見を聴きながら計画の策定を進める。
	令和元年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	本市の各子育て支援施策は、子ども・子育て支援事業計画を指針として実施しており、各施策の進捗状況から子育て支援施策が推進されているものと判断し、相当程度効果があったものとする。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	本事業は子ども・子育て支援法に定められた子ども・子育て支援事業計画の策定や進捗管理、子ども・子育て会議を運営する事業であり、引き続き実施していく必要がある。令和元年度に策定した第2期子ども・子育て支援事業計画の各施策の進捗管理を行い、本市の子育て支援施策の推進を図ります。
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

## 第四次実施計画事業シート

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	
-------	----	------	---	-------	--

➔ 【継続】の場合の区分

	継続
--	----

部等名	課等名	班等名
健康福祉部	子育て支援課	児童家庭班

事業(予算)名	病児・病後児保育事業
---------	------------

総合計画体系	施策の大綱	第1章 手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち						
	施策	施策2 次代を担う子どもの成長と仕事と子育ての両立を支援する児童福祉の充実						
	施策の展開	(1) 子どもが健やかに生まれ育つための環境づくりの推進						
予算科目	会計	一般	款	3	項	2	目	1
関連計画・根拠法令等	児童福祉法 子ども・子育て支援法							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	H26				-			

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	子どもが病気でも仕事をしなければならないなど、子育てに対する親の不安感や負担感が増大しているため、安心して仕事をしながら子育てができる子育て支援サービスが求められている。						
	対象(誰・何を)	市民						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	保護者が就労している場合等において、子どもが病気の際に自宅での保育が困難な場合の保育需要に対応するため、病院において病気の児童を一時的に保育するほか、保育中に体調不良となった児童への緊急対応を行い、安心して子育てができる環境を整備し、もって児童の福祉の向上を図ることを目的とする。						
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )						
	事業手法選択の理由	クリニックに委託することで安定した事業の運営が見込めるため						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	目標値			指標として設定する理由
		H30年度	R元年度	R2年度	
利用登録人数	人	190	209	218	利用登録人数を把握するため
利用件数	件	397	472	492	利用件数を把握するため
後期基本計画における指標	単位	実績値 H26年度	目標値 R2年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由	
保育所待機児童数	人	83		指標の達成に直接寄与するものではないが、子育てしやすい環境の整備により街づくりの目標である「手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち」の達成に寄与するものである	
放課後児童クラブ設置数	箇所	5	8	本事業において放課後児童健全育成事業を実施しているため	
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 R元年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由
		( )			
		( )			
		( )			

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
病児・病後児保育事業	健康福祉部	子育て支援課	児童家庭班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
利用登録人数	人	190	208	209	181	218	
利用件数	件	397	470	472	341	492	

第四次実施計画	評価	平成30年度	事業効果	非常に効果的であった
			判断理由	登録人数・利用件数ともに増加傾向であり、子どもが病気中の保育需要に対応することは、児童の福祉向上に効果的であったと判断されるため。
			実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由及び今後の予定	引き続き子どもが病気中の保育需要に対応するため、継続事業とする。ホームページや広報等で市民に周知し、利用を促す。
		令和元年度	事業効果	相当程度効果があった
			判断理由	子どもが病気中の保育需要に対応することは、児童の福祉向上に効果的であったと判断されるため。
			実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
			今後の方針の理由及び今後の予定	引き続き子どもが病気中の保育需要に対応するため、継続事業とする。ホームページや広報等で市民に周知し、利用を促す。
		令和2年度	事業効果	
			判断理由	
			実績値を踏まえた今後の方針	
			今後の方針の理由及び今後の予定	

## 第四次実施計画事業シート

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	
-------	----	------	---	-------	--

➔ 【継続】の場合の区分

	継続
--	----

部等名	課等名	班等名
健康福祉部	子育て支援課	児童家庭班

事業(予算)名	利用者支援事業
---------	---------

総合計画体系	施策の大綱	第1章 手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち						
	施策	施策2 次代を担う子どもの成長と仕事と子育ての両立を支援する児童福祉の充実						
	施策の展開	(1) 子どもが健やかに生まれ育つための環境づくりの推進						
予算科目	会計	一般	款	3	項	2	目	1
関連計画・根拠法令等	子ども・子育て支援法							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	H27				—			

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	核家族化が進み、子育ての孤立から不安を抱く家庭が増えており、子どもや子どものいる家庭を地域全体が支える仕組みの構築が求められている。						
	対象(誰・何を)	子育て世帯・妊産婦等						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	子ども・子育て支援法に基づき、子育て支援の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を行う。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )						
	事業手法選択の理由	こども館において直営で事業を行うことで利用者の利便性の向上が期待できるため						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	目標値			指標として設定する理由
		H30年度	R元年度	R2年度	
相談日	日	244	244	243	年間の相談実施日数を把握するため
後期基本計画における指標	単位	実績値 H26年度	目標値 R2年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由	
保育所待機児童数	人	83			指標の達成に直接寄与するものではないが、子育てしやすい環境の整備により街づくりの目標である「手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち」の達成に寄与するものである
放課後児童クラブ設置数	箇所	5	8		指標の達成に直接寄与するものではないが、子育てしやすい環境の整備により街づくりの目標である「手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち」の達成に寄与するものである
総合戦略における指標等	単位	基準値(年度)	目標値 R元年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由
		( )			
		( )			
		( )			

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
利用者支援事業	健康福祉部	子育て支援課	児童家庭班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
相談日	日	244	244	244	235	243	

評価	平成30年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	こども館を拠点として巡回相談を実施することで、親子の身近な所での相談対応ができています。また、必要に応じて他課(子ども課・健康推進課等)とも情報共有することで関係機関との連携を図ることができており、事業効果があったと判断されるため。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	子どもや子どものいる家庭を地域で支える仕組みを構築するため、子育て支援の情報提供や関係機関との連絡調整を続けていく必要があるため、継続事業とする。関係機関との連携体制を整える。
	令和元年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	こども館を拠点として巡回相談を実施することで、親子の身近な所での相談対応ができています。また、必要に応じて他課(子ども課・健康推進課等)とも情報共有することで関係機関との連携を図ることができており、事業効果があったと判断されるため。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	子どもや子どものいる家庭を地域で支える仕組みを構築するため、子育て支援の情報提供や関係機関との連絡調整を続けていく必要があるため、継続事業とする。関係機関との連携体制を整える。
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	



## 第四次実施計画事業シート

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	
-------	----	------	---	-------	--



【継続】の場合の区分	拡大
------------	----

部等名	課等名	班等名
健康福祉部	子育て支援課	子育て支援班

事業(予算)名	こども館管理運営事業							
総合計画体系	施策の大綱		第1章 手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち					
	施策		施策2 次代を担う子どもの成長と仕事と子育ての両立を支援する児童福祉の充実					
	施策の展開		(1) 子どもが健やかに生まれ育つための環境づくりの推進					
予算科目	会計	一般	款	3	項	2	目	1
関連計画・根拠法令等	児童福祉法 子ども・子育て支援法							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	H28				-			

事業の概要	現状 (課題・ニーズ)	待機児童の解消や、子育て支援の充実が強く望まれている。						
	対象 (誰・何を)	地域子育て支援拠点事業:市内在住の就学前児童とその保護者 一時預かり事業:0歳児から5歳児 放課後児童健全育成事業:市内小学校に通う児童						
	事業内容 (課題・ニーズの解決策)	地域の子育て支援の充実を図るため、地域子育て支援拠点事業及び一時預かり事業や、放課後児童健全育成事業をこども館において実施する。						
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )						
	事業手法 選択の理由	民間事業者のもつノウハウを生かし、市民サービスの向上を図るため						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	指標	単位	目標値			指標として設定する理由
			H30年度	R元年度	R2年度	
	指定管理者との調整会議実施回数	回	12	12	12	調整会議の実施により円滑な運営を図るため
	後期基本計画における指標	単位	実績値 H26年度	目標値 R2年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由	
	保育所待機児童数	人	83		指標の達成に直接寄与するものではないが、子育てしやすい環境の整備により街づくりの目標である「手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち」の達成に寄与するものである	
	放課後児童クラブ設置数	箇所	5	8	本事業において放課後児童健全育成事業を実施しているため	
	総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 R元年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由
	子育て支援センター利用者数	人	8,317 (H26)	25000	KPI	本事業において子育て支援センター事業を実施しているため
			( )			
			( )			

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
こども館管理運営事業	健康福祉部	子育て支援課	子育て支援班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
第四次実施計画	指定管理者との調整会議実施回数	回	12	12	12	11	12

評価	平成30年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	指定管理者との調整会議の毎月実施や、モニタリング等を通して、子ども館の利用状況やニーズを把握し、対応することにより、市民サービス向上に繋がり、地域の子育て支援に大きく寄与していると考えたため。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	市民ニーズが高い事業であることから、引き続き、指定管理者制度による運営を行い、地域子育て支援拠点事業及び一時預かり事業や、放課後児童健全育成事業を実施する。また、指定管理者との定例会議やモニタリングを通して市民サービスの向上や効率的な運営を図る。
	令和元年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	指定管理者との調整会議の毎月実施や、モニタリング等を通して、子ども館の利用状況やニーズを把握し、対応することにより、市民サービス向上に繋がり、地域の子育て支援に大きく寄与していると考えたため。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	市民ニーズが高い事業であることから、引き続き、指定管理者制度による運営を行い、地域子育て支援拠点事業及び一時預かり事業や、放課後児童健全育成事業を実施する。また、指定管理者との定例会議やモニタリングを通して市民サービスの向上や効率的な運営を図る。
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

# 第四次実施計画事業シート

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	
-------	----	------	---	-------	--

【継続】の場合の区分	拡大
------------	----

部等名	課等名	班等名
健康福祉部	子育て支援課	幼保連携班

事業(予算)名	子どものための教育・保育給付事業
---------	------------------

総合計画体系	施策の大綱	第1章 手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち				
	施策	施策2 次代を担う子どもの成長と仕事と子育ての両立を支援する児童福祉の充実				
	施策の展開	(3) 保育サービスの充実				

予算科目	会計	一般	款	3	項	2	目	2
------	----	----	---	---	---	---	---	---

関連計画・ 根拠法令等	児童福祉法、子ども・子育て支援法							
----------------	------------------	--	--	--	--	--	--	--

事業期間	開始年度	開始する理由	終了予定年度	終了する理由
	-		-	

事業の概要	現状 (課題・ニーズ)	保育ニーズの増大に対応するため、基準の範囲内で認可定数以上の受け入れを行い、待機児童の解消に努めているが、抜本的な改善に至っていない状況である。		
	対象 (誰・何を)	市内民間保育所及び市外認可保育所、地域型保育事業所		
	事業内容 (課題・ニーズの解決策)	市内民間認可保育所、市外公立保育所及び市外民間保育所へ保育を委託し、その費用を支弁する。また、地域型保育事業所に対しても給付を行う。		
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )		
	事業手法 選択の理由	民間保育所に保育業務を委託している。		
	協働の取組	無	協働の取組内容	

指標	単位	目標値			指標として設定する理由
		H30年度	R元年度	R2年度	
保育の委託	施設	42	42	42	入所施設数により経費に影響が出るため
後期基本計画 における指標	単位	実績値 H26年度	目標値 R2年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由	
保育所待機児童 数	人	83	0	保育の委託先が増えることにより、待機児童が解消される。	
総合戦略におけ る指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 R元年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由
待機児童数	人	83 (H26)		指標	保育の委託先が増えることにより、待機児童が解消される。
		( )			
		( )			

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
子どものための教育・保育給付事業	健康福祉部	子育て支援課	幼保連携班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
第四次実施計画	保育の委託	施設	42	45	42	52	42

評価	平成30年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	児童福祉法、子ども・子育て支援法に基づき、保育を必要とする児童を保育園等で保育することにより、児童福祉の充実が図られている。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	児童福祉法、子ども・子育て支援法に基づき、児童の保育を実施していくため事務を継続していく。
	令和元年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	児童福祉法、子ども・子育て支援法に基づき、保育を必要とする児童を保育園等で保育することにより、児童福祉の充実が図られている。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	児童福祉法、子ども・子育て支援法に基づき、児童の保育を実施していくため事務を継続していく。
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	
-------	----	------	---	-------	--

→ 【継続】の場合の区分

継続
----

部等名	課等名	班等名
健康福祉部	子育て支援課	児童家庭班

事業(予算)名	ひとり親等福祉総務事業
---------	-------------

総合計画体系	施策の大綱		第1章 手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち					
	施策		施策2 次代を担う子どもの成長と仕事と子育ての両立を支援する児童福祉の充実					
	施策の展開		(4) ひとり親家庭への支援の拡充					
予算科目	会計	一般	款	3	項	2	目	3
関連計画・根拠法令等	児童扶養手当法							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		

事業の概要	現状 (課題・ニーズ)	ひとり親(母子・父子)家庭の福祉に係る関係経費を計上し、全体的事務を処理する。						
	対象 (誰・何を)	ひとり親(母子・父子)家庭						
	事業内容 (課題・ニーズの解決策)	ひとり親(母子・父子)家庭の福祉に係る関係経費(児童扶養手当支給事業、ひとり親家庭等医療費等助成事業、ひとり親家庭就労支援事業)を計上し、全体的事務を処理する。契約更新の為システムの使用料、保守料が増大した。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )						
	事業手法 選択の理由							
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	指標	単位	目標値			指標として設定する理由
			H30年度	R元年度	R2年度	
	ひとり親家庭養育者数	世帯	430	430	430	「ひとり親家庭への支援の拡充」の達成に寄与するものである
	児童扶養手当延べ受給者数	人	5,000	5,000	5,000	「ひとり親家庭への支援の拡充」の達成に寄与するものである
	後期基本計画における指標	単位	実績値 H26年度	目標値 R2年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由	
	保育所待機児童数	人	83	0	指標の達成に直接寄与するものではないが、子育てしやすい環境の整備により街づくりの目標である「手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち」の達成に寄与するものである	
	放課後児童クラブ設置数	箇所	5	8	指標の達成に直接寄与するものではないが、子育てしやすい環境の整備により街づくりの目標である「手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち」の達成に寄与するものである	
	総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 R元年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由
			( )			
			( )			
		( )				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
ひとり親等福祉総務事業	健康福祉部	子育て支援課	児童家庭班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
ひとり親家庭養育者数	世帯	430	406	430	399	430	
児童扶養手当延べ受給者数	人	5,000	4,793	5,000	4,980	5,000	

評価	平成30年度	事業効果	効果があった
		判断理由	30年度の児童扶養手当等の事業に関し、システム等により手当額の計算や支払時における業務を効率的に事業を実施できた為。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	児童扶養手当法に基づく事業や、その他ひとり親支援の事業の効率的な実施の為には、システムは必要不可欠であり、今後も事業の継続をする必要がある。
	令和元年度	事業効果	効果があった
		判断理由	令和元年の児童扶養手当等の事業に関し、システム等により手当額の計算や支払時における業務を効率的に事業を実施できた為。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	児童扶養手当法に基づく事業や、その他ひとり親支援の事業の効率的な実施の為には、システムは必要不可欠であり、今後も事業の継続をする必要がある。
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	
-------	----	------	---	-------	--

↳ 【継続】の場合の区分

継続
----

部等名	課等名	班等名
健康福祉部	子育て支援課	子育て支援班

事業(予算)名	児童遊園管理事業
---------	----------

総合計画体系	施策の大綱	第1章 手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち
	施策	施策2 次代を担う子どもの成長と仕事と子育ての両立を支援する児童福祉の充実
	施策の展開	(1) 子どもが健やかに生まれ育つための環境づくりの推進

予算科目	会計	一般	款	3	項	2	目	4
------	----	----	---	---	---	---	---	---

関連計画・根拠法令等	富里市児童遊園の設置及び管理に関する条例
------------	----------------------

事業期間	開始年度	開始する理由	終了予定年度	終了する理由
	—		—	

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	平成25年4月1日付けで、千葉県児童福祉施設の設置及び運営に関する基準を定める条例が改正され、児童遊園には、広場、遊具及び便所を設置しなければならないこと及び児童の遊びを指導する者も配置しなければならないこととなった。これにより、市内児童遊園の全てが基準を満たしていない状況であることから、児童遊園としての設置の必要性について、判断する時期であると思われる。		
	対象(誰・何を)	児童		
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	児童の健康増進と情操を豊かにすることを目的としている児童遊園の管理を行う。		
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )		
	事業手法選択の理由	児童遊園の管理については、地元区に依頼している。		
	協働の取組	有	協働の取組内容	「富里市公園の住民参加に関する協定」に基づき、地元区等との協働による公園管理を実施。

指標	単位	目標値			指標として設定する理由
		H30年度	R元年度	R2年度	
地元区等との協定に基づく公園管理	箇所	14	14	14	地元区と協定により、協働のまちづくりに寄与している。
遊具等の安全点検	施設	14	14	14	管理している施設数により予算額に影響があるため
後期基本計画における指標	単位	実績値 H26年度	目標値 R2年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由	
公園管理協定締結公園数	件	74	78	住民参加による公園管理が協働のまちづくりに寄与している。	
総合戦略における指標等	単位	基準値(年度)	目標値 R元年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由
		( )			
		( )			
		( )			

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
児童遊園管理事業	健康福祉部	子育て支援課	子育て支援班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
第四次実施計画	地元区等との協定に基づく公園管理	箇所	14	14	14	14	14
	遊具等の安全点検	施設	14	14	14	14	14

評価	平成30年度	事業効果	効果があった
		判断理由	児童に健全な遊び場を提供することにより、児童福祉の充実に結びついている。管理については、地元区等と管理協定を結び、市民協働で行っている。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	児童の健康増進と情操を豊かにすることを目的として設置している施設であるが、利用する児童数は減少していることから今後の児童遊園の在り方、必要性について検討する時期であると思われる。
	令和元年度	事業効果	効果があった
		判断理由	児童に健全な遊び場を提供することにより、児童福祉の充実に結びついている。管理については、地元区等と管理協定を結び、市民協働で行っており、施設管理の瑕疵によるけがや事故等がなく、適切な施設管理が行えているため。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	児童の健康増進と情操を豊かにすることを目的として設置している施設であるが、利用する児童数は減少していることから今後の児童遊園の在り方、必要性について検討する時期であると思われる。
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	



# 第四次実施計画事業シート

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	
↓				【継続】の場合の区分	継続
部等名		課等名		班等名	
健康福祉部		子育て支援課		子育て支援班	

事業(予算)名	こども園維持管理事業							
総合計画体系	施策の大綱		第1章 手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち					
	施策		施策2 次代を担う子どもの成長と仕事と子育ての両立を支援する児童福祉の充実					
	施策の展開		(3) 保育サービスの充実					
予算科目	会計	一般	款	3	項	2	目	5
関連計画・根拠法令等	子ども子育て支援法、児童福祉法、富里市立幼保連携型認定こども園の設置及び管理に関する条例							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	H29				—			

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	平成29年4月に開園した葉山こども園及び向台こども園について、安全・清潔な適正管理を図る。						
	対象(誰・何を)	園児及び保護者						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	園舎及び園庭の適正な維持管理						
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )						
	事業手法選択の理由	各保守点検業務については、専門業者に委託している。						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	目標値			指標として設定する理由
		H30年度	R元年度	R2年度	
施設数	箇所	2	2	2	維持管理を行う施設数により予算額に影響が出るため
後期基本計画における指標	単位	実績値 H26年度	目標値 R2年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由	
保育所待機児童数	人	83	0		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 R元年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由
認定こども園数	箇所	— ( )	2	KPI	
		( )			
		( )			

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
こども園維持管理事業	健康福祉部	子育て支援課	子育て支援班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
施設数	箇所	2	2	2	2	2	

評価	平成30年度	事業効果	効果があった
		判断理由	園舎及び園庭の安全・清潔な維持管理を行った。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	子どもたちが長時間生活をする場であることから、引き続き施設の安全性、衛生環境を整え継続して維持管理を行う。
	令和元年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	園舎及び園庭の安全・清潔な維持管理に努めた結果、施設管理の瑕疵によるケガや事故等がなく、適切な施設管理が行えているため。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	子どもたちが長時間生活をする場であることから、引き続き施設の安全性、衛生環境を整え継続して維持管理を行う。
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

## 第四次実施計画事業シート

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	
-------	----	------	---	-------	--

【継続】の場合の区分	拡大
------------	----

部等名	課等名	班等名
健康福祉部	子育て支援課	子育て支援班・幼保連携班

事業(予算)名	こども園運営事業
---------	----------

総合計画体系	施策の大綱	第1章 手をつなぎ、みんなで目指す、明るく元気なまち						
	施策	施策2 次代を担う子どもの成長と仕事と子育ての両立を支援する児童福祉の充実						
	施策の展開	(3) 保育サービスの充実						
予算科目	会計	一般	款	3	項	2	目	5
関連計画・根拠法令等	子育て支援法、児童福祉法、富里市立幼保連携型認定こども園の設置及び管理に関する条例							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	H29				-			

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	平成29年4月に開園した葉山こども園及び向台こども園において、安全・安心な保育を実施する。						
	対象(誰・何を)	園児及び保護者						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	入園児の健全な心身の発達を図り、子育て家庭への支援を行う。						
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )						
	事業手法選択の理由	向台こども園の一時保育業務及び子育て支援センター業務について業務委託を実施している。						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	目標値			指標として設定する理由
		H30年度	R元年度	R2年度	
入園児童数(葉山)	人	150	150	150	入所人数により経費に影響が出るため
入所児童数(向台)	人	141	141	141	入所人数により経費に影響が出るため
向台子育て支援センター利用者数	人	9,000	9,000	9,000	利用人数により経費に影響が出るため
後期基本計画における指標	単位	実績値 H26年度	目標値 R2年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由	
保育所待機児童数	人	83	0		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 R元年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由
認定こども園数	箇所	-	2	KPI	
		( )			
		( )			
		( )			

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
こども園運営事業	健康福祉部	子育て支援課	子育て支援班・幼保連携班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
入園児童数(葉山)	人	150	120	150	116	150	
入所児童数(向台)	人	141	125	141	122	141	
向台子育て支援センター利用者数	人	9,000	9,039	9,000	8,357	9,000	

評価	平成30年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	安全・安心な保育を実施し、園児の健全な心身の発達を図り、子育て家庭への支援を行うことができた。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	乳幼児期にふさわしい生活の場をつくり、子どもたちの心身の健やかな育ちを援助する。
	令和元年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	安全・安心な保育を実施し、園児の健全な心身の発達を図り、子育て家庭への支援を行うことができた。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	乳幼児期にふさわしい生活の場をつくり、子どもたちの心身の健やかな育ちを援助する。
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	



事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
幼稚園施設維持管理事業	健康福祉部	子育て支援課	子育て支援班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
第四次実施計画	市立幼稚園数	園	2	2	2	2	2

評価	平成30年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	園舎及び園庭の安全・清潔な維持管理を行った。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	施設の安全性、快適性を向上し良好な状態に保つ必要があるため継続して維持管理を行う。
	令和元年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	園舎及び園庭の安全・清潔な維持管理に努めた結果、施設管理の瑕疵による事故等がなく、適切な施設管理が行えているため。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	施設の安全性、快適性を向上し良好な状態に保つ必要があるため継続して維持管理を行う。
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

# 第四次実施計画事業シート

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード
-------	----	------	---	-------

【継続】の場合の区分	拡大
------------	----

部等名	課等名	班等名
健康福祉部	子育て支援課	幼保連携班

事業(予算)名	幼稚園振興事業
---------	---------

総合計画体系	施策の大綱	第2章 教えあい、みんなで学ぶ、心の豊かさや愛を育むまち						
	施策	施策3 次代を担う子どもを育む学校教育・幼児教育の推進						
	施策の展開	(1) 教育内容の充実						
予算科目	会計	一般	款	9	項	4	目	2
関連計画・根拠法令等								
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	—				—			

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	幼稚園教育の充実のため、必要資材の調達を行う。						
	対象(誰・何を)	市立幼稚園2園の在園児						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	幼稚園振興に要する教材及び指導用消耗品等の整備を行う。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )						
	事業手法選択の理由	公立の幼稚園として地域の幼児教育を担うため、直営とする。						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	指標	単位	目標値			指標として設定する理由
			H30年度	R元年度	R2年度	
	適正な運営管理	—	適	適	適	適正な運営管理が行われているか判断することで、幼児教育の充実を図る。
	後期基本計画における指標	単位	実績値 H26年度	目標値 R2年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由	
	総合戦略における指標等	単位	基準値(年度)	目標値 R元年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由
			( )			
			( )			
		( )				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
幼稚園振興事業	健康福祉部	子育て支援課	幼保連携班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
適正な運営管理	—	適	適	適	適	適	

評価	平成30年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	市立幼稚園の教材用の消耗品を充実させることにより、幼児教育の充実が図られた。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	引き続き幼稚園振興に要する教材及び指導用消耗品等の整備を行う。
	令和元年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	市立幼稚園の教材用の消耗品を充実させることにより、幼児教育の充実が図られた。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	引き続き幼稚園振興に要する教材及び指導用消耗品等の整備を行う。
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	



### 第四次実施計画事業シート

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	
-------	----	------	---	-------	--

<div style="display: flex; align-items: center;"> <span>【継続】の場合の区分</span> </div>	継続
--	----

部等名	課等名	班等名
健康福祉部	子育て支援課	幼保連携班

事業(予算)名	私立幼稚園就園奨励費補助事業
---------	----------------

総合計画体系	施策の大綱	第2章 教えあい、みんなで学ぶ、心の豊かさや愛を育むまち						
	施策	施策3 次代を担う子どもを育む学校教育・幼児教育の推進						
	施策の展開	(1) 教育内容の充実						
予算科目	会計	一般	款	3	項	2	目	1
関連計画・根拠法令等	富里市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	-				R1	令和元年10月から幼児教育の無償化制度に移行するため。		

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	私立幼稚園在園児の保護者に対する減免分を、市から私立幼稚園に補助する仕組みとなっており、園の事務負担増となっている。また、対象となる世帯の要件が複雑なため、保護者にとってわかりにくい制度となっている。						
	対象(誰・何を)	私立幼稚園に子どもを通園させている保護者						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	私立幼稚園に通園する園児の世帯の所得状況・世帯状況に応じて、保護者の経済的負担を軽減することを目的として、保護者から徴収する保育料等を減額または免除する。私立幼稚園の設置者に対しては、減免分を補助金として支給する。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )						
	事業手法選択の理由	補助金交付に係る事務のため、直営としている。						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	目標値			指標として設定する理由
		H30年度	R元年度	R2年度	
申請件数	件	365	360	360	対象となる保護者に申請漏れがないようにするため
受理件数	件	365	360	360	申請書類に不備や不足がないようにするため
後期基本計画における指標	単位	実績値 H26年度	目標値 R2年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由	
総合戦略における指標等	単位	基準値(年度)	目標値 R元年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由
		( )			
		( )			
		( )			

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
私立幼稚園就園奨励費補助事業	健康福祉部	子育て支援課	幼保連携班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
申請件数	件	365	340	360	315	360	
受理件数	件	365	340	360	315	360	

評価	平成30年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	私立幼稚園に通園する園児の世帯の所得状況・世帯状況に応じて、保護者から徴収する保育料等を減額または免除し、保護者の経済的負担を軽減することができた。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	令和元年10月から始まる幼児教育の無償化制度に円滑に移行するため、適切に事務処理を行う。
	令和元年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	私立幼稚園に通園する園児の世帯の所得状況・世帯状況に応じて、保護者から徴収する保育料等を減額または免除し、保護者の経済的負担を軽減することができた。
		実績値を踏まえた今後の方針	予定通り事業終了
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	